

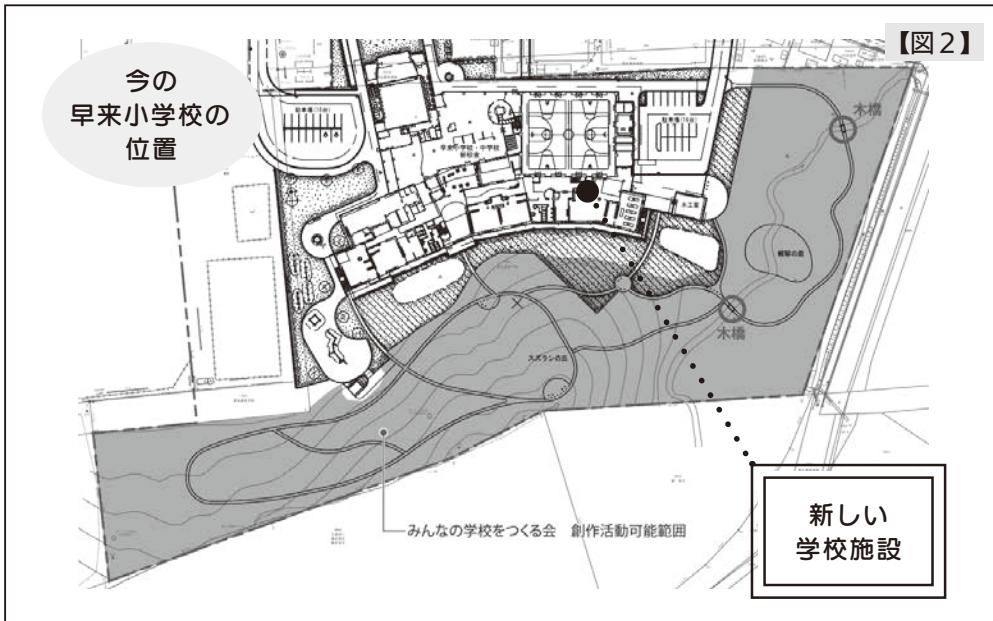
昨年11月より、これまで教育委員会主導で行ってきたこの活動が、住民有志の方々の手によって主体的に進められる形となりました。

教育委員会主催の際は、私たちが児童・生徒や住民の皆さんにお聞きしたいことをテーマとして取り上げてきたため、建物の設計や、建物内での過ごし方まで様々な内容を扱い、多くの方から多様なご意見をいただきました。そこで、もっと住民の皆さんが「自分ごと」として行政と一緒に取り組める機会とするため、主体的にじっくり話し合いができるものをテーマにしていこうということになりました。現在話し合っているテーマは、『学校の丘づくり』です。

【図1】は、みんなの学校をつくる会とその他の義務教育学校建設に関する会議と、それらの関係性を図で示しています。

今は何を話し合っている？

【図2】の「創作活動可能範囲」となっている部分が、今話し合いをしている「丘」の範囲



です。ひとくちに丘といっても、右上の「木橋」と書いてある辺りには小川が流れ、周辺は湿地のような状態が広がっていて、様々な活動ができる可能性を秘めている場所です。

「丘」のコンセプトは、「子どもと大人の両方が「ここで時間を過ごしたい。」と思える場所」です。そこで過ごしている様子がお互いに見え、つながりを感じられる庭にしたいと思っています。

児童・生徒だけでなく、地域の方にも気軽に訪れていただける場所にするため、丘中に遊歩道を巡らせる計画を持っていますが、それ以外の部分については特に計画はなく、どのようにしていきたいかを話し合っています。

話し合いから見えてきたこと

学校の丘についての話し合いと同時に、早来地区の4校の児童・生徒や住民の方を対象に丘がどんな場所になったら良いか、丘に何があったら良いかアンケート調査を行いました。この結果を参考に話し合ってきた中で、次のことが見えてきました。
※このアンケート結果は、別途町のホームページなどでお知らせしたいと思います。

- 大きく分けると…
- ① 自然とふれあえる場所をつくりたい！
 - ② ゆっくり休憩したり、読書など文化学的な活動がしたい！
 - ③ ダイナミックな運動や遊びをした

これらのご意見から、丘を3つのゾーンに分けて考えていこうということになっています。【図2】にこの3つのゾーン分けをイメージしたものが【図3】※次のページで紹介【図3】です。また、【図4】は、この3つのゾーンの位置関係を、はやきた子